

病理解剖をお受けになった患者さんのご遺族の方へ

(1) 研究の概要について

当センターでは「腎組織におけるテロメア長測定による細胞老化の検討」を実施しております。我が国は急速な高齢化を迎えています。加齢によって正常腎でも腎臓の働きは80歳で60-70%まで低下するといわれています。そのため腎疾患を合併すると末期腎不全となり、透析医療を要し、社会問題ともなっています。加齢によって腎臓は萎縮し重量減少があり、腎組織学的には、糸球体の減少および硬化、虚脱、メザンギウムの増加、腎小体の基底板の肥厚、尿細管上皮細胞の萎縮、間質の線維化などの変化がみられます。しかしそのメカニズムについてはよく知られていません。

染色体の末端に存在する「テロメア」といわれる構造は加齢により短縮することが知られていますが、腎組織の細胞でテロメア長を定量的に測定することで老化のメカニズムに迫ります。また糖尿病性腎臓病、高血圧性腎症などの腎疾患と正常腎細胞老化の差異についても調べ、疾患発症の原因を探ります。

具体的には2000年以降に東京都健康長寿医療センター（旧東京都老人医療センターを含む）で病理解剖された方が研究の対象となります。病理解剖のご承諾の際に医学研究へのご協力にもご承諾いただいておりますが、改めて研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を承りますようお願い申し上げます。

この研究への協力承諾の撤回を希望される場合や、また研究に関するご質問がある場合には、問い合わせ先へご連絡ください。

研究題名：「腎組織におけるテロメア長測定による細胞老化の検討」

研究期間：承認後～2024年3月31日

研究責任者（所属・職名・氏名）

東京都健康長寿医療センター・腎臓内科 部長 武井 卓

研究実施者 腎臓内科 山口靖子

研究分担者（所属・職名・氏名）

東京都健康長寿医療センター・腎臓内科 血液透析科 部長 板橋美津世

東京都健康長寿医療センター・病理診断科・部長 新井富生

東京都健康長寿医療センター・病理診断科・野中敬介

東京都健康長寿医療センター研究所・老年病理学研究チーム・部長 石渡俊行

東京都健康長寿医療センター研究所・老年病理学研究チーム・副部長 相田順子

東京都健康長寿医療センター研究所・老年病理学研究チーム・非常勤研究員 田久保海誉

東京都健康長寿医療センター腎臓内科 非常勤医師 清水章

東京都健康長寿医療センター腎臓内科 非常勤医師 湯村和子

(2) 研究の意義・目的について

加齢とともに腎形態は変化することが知られていますがそのメカニズムは不明です。テロメア長を測定することで腎細胞老化や疾患のメカニズムを調べることが目的

(3) 研究の方法について

各年齢層の 病理解剖で得られた腎検体を用いて、テロメアの相対的長さを計測し、年齢や臨床データとの関連を検討します。

(4) 資料の保管と、他の研究への利用について

本研究を行うときには、個人情報とは完全に分離した形で扱っておりますので、患者さんの個人情報が漏れる心配はありません。また、国内外に研究の成果を論文・学会等で発表する場合も、個人の特定はできないようにしております。他の研究への利用 はありません。

なお、研究終了後のデータの扱いについては、論文の根拠となるデータは、発表後 5 年間保管します。保管責任者は研究責任者とし、保管場所については東京都健康長寿医療センターの所定の場所で、厳重に保管します。

(5) 資料の入手または閲覧、開示

本研究の計画や方法についてはご遺族の希望に応じて、資料の要求または閲覧ができます。本研究の結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝え頂ければ、他の研究者に不利益が及ばない範囲で、研究結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報 を含む場合には、資料の提供または閲覧はできません。

(6) 問い合わせ先

研究事務局：東京都健康長寿医療センター 腎臓内科

連絡先：〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

TEL 03-3964-1141 (代表)

受付時間：平日 9 時から 17 時